

諫早農高が現場実習

吉川建設ら10社が協力



吉川建設 現場での指導風景



山本建設 追尾式測量機を使用する生徒

県立諫早農業高等学校は、10月30日～11月1日の3日間、建設現場実習を実施した。毎年この時期、同校土木科2年生を対象に行っているもので、今年は吉川建設(株)や山本建設(株)ら10社が協力。各社が担当する施工中の現場において、担当現場員による指導の下、生徒らの実習が行われた。

吉川建設の実習では、自社が所有するアスファルト合材プラント工場の見学および透水試験、干拓湾工事現場での測量(光波・丁張含む)、嵩上げコンクリート計算などを指導。また、山本建設は、県内でも少数の企業しか所有していない、自動追尾式の測量機を利用した作業を実地。生徒たちは興味津々の表情で取り組んでいた。

各協力会社は指導する際、重機から離れた現場を選択するなど、安全面に対する配慮が見受けられた。山本建設の現場代理人を務める馬場勝昭氏は、「今回は、工事の最終段階における指導だったため、学ぶ範囲も狭かったと思う。来年は工事当初の現場に来ていただければさらに勉強になる」と述べ、今後も指導への協力を惜しまない姿勢だ。

諫早農高の中道義久教諭は、「学校で学んだ技術を実体験できるとともに、熟練した現場員の技術を目の当たりにできることは大変いい勉強になると考える。引き続き来年度以降も、各社に協力をお願いしていきたい」と述べ、協力会社への感謝を語った。

協力会社は次の通り。

▽吉川建設(株)▽山本建設(株)▽増崎建設(株)▽(株)フジタ建設▽西州建設(株)▽(株)上滝諫早営業所
▽宅島建設(株)▽(株)三青▽(株)下田組▽中島建設(株)